

みっかんざか

11月号(令和5年11月17日発行)

鹿児島市立武岡小学校



Tel 282-0061
Fax 282-0069

読書に親しみ・心を豊かに

校長 猿渡 功

今、校内読書月間である。昼休みになると、我先に、図書館に直行する子どもたちがいる。「今日は記念すべき80冊だ。」「この本、読みたかったんだ。」と楽しそうに入っていく。

担任の先生に連れられ、週1回の「図書の日」を楽しみにしている子供もいる。月と木曜日の朝には、保護者の方が読み聞かせをしてくれることもある。

金曜日には、図書委員会が準備した、「読み聞かせやペープサート」など楽しい催しも計画されている。また、先生たちによる読み聞かせも始まった。

「国際子ども平和賞」を日本人で初めて受賞した川崎レナさん(17歳)が行動を起こすきっかけとなったのは、8歳のときに図書館で読んだ本(『ランドセルは海を超えて』)であったという。この機会に子供たちに、自分にとっての素敵な本と出会うことを願う。

学校のホームページには、「学校図書館司書による今月のおすすめの本」がアップされている。子どもたちの中には、そのお薦めの本を読んで、自分のお薦めの本として、図書館横の「読書の木」に書き込んだ子どももいた。



実は、このブログを始めた趣旨がある。以下、司書による子どもたちに向けたメッセージである。

「武岡小学校の図書館には、今、10,311冊もの本があります。しかし、1学期に1回でも読んでもらった本は、このうちの3,875冊だけです。つまり、図書館の62パーセントにあたる6,436冊の本はだれにもまだ読んでもらえていません。

そんなだれにも読んでもらえていない本のほとんどが、おそらく『古い本』だと思われる本たちです。小学生のみなさんにとって、古い本はきっとおもしろそうに見えないのだろうと思います。ただ、古い本にもおもしろい本、すてきな本はたくさんあるのです。

見た目が古いのはその本がそれだけ長く愛されてきた証です。

どうしても人気があるのは、新刊(あたらしい本)ですが、古い本の中にもぜひ読んで欲しいと思う本はたくさんあります。そんな本を本校のブログの中で、少しずつ、「司書によるおすすめの本」として紹介していきます。

小学校時代にいろいろな本と出会うことは、とても大事なことです。

あたらしい本の世界だけでなく、古い本の世界を読み味わうことで、きっとみなさんの世界は、より美しく豊かですばらしいものになると思います。

これから紹介する本を、ぜひ手に取って読んでみてもらえたらうれしいです。」

時に、親子でも、本に親しむのにもよい季節となった。願わくば、読書を通して、子どもたちが心豊かに、見える世界を広げてくれたらと思う。

読書月間「出張読み聞かせ」

読書月間のイベントの一つとして、それぞれの先生がそれぞれのクラスに出張して読み聞かせをする取組をしています。当日までどの先生が読み聞かせに来るのか分からないので、いつも子供たちはドキドキしながら楽しみに待っています。

ちなみに、私(教頭)は6年生に入って読み聞かせをしました。今回は、広い意味での読み聞かせ。鉄拳のパラパラ漫画を使って実施しました。「ツナガレ」

「振り子」をもとに、倉科さんの人生そして、君たちはどう生きるか考えさせました。卒業まであとわずか、1日1日を大切に、そしてその先の将来も考えてほしいと思います。



充実の秋!

県民週間をはじめ、秋はいろいろなイベントがありました。読書月間、陸上記録会、特別支援学校との居住地交流、市音楽発表会・・・様々なイベントを通して、学びを深めている武岡小学校です。

★県民週間の参観、アンケート、学校評価ありがとうございました。いただいた貴重なご意見を今後の学校経営に生かしていきたいと思っております。



12月の行事予定

- 1日(金)学級PTA
低[13:45~] 中[14:40~]
高[15:35~] 特[16:30~]
 - 6日(水)いのちの授業(6年)
 - 9日(土)土曜授業日、校区社協街頭募金(6年)
 - 11日(金)交通事故防止運動(6年)
 - 22日(金)終業式・大掃除・学級活動等
※ 22日は給食ありの4時間授業
- 冬季休業(12月23日~1月8日)

